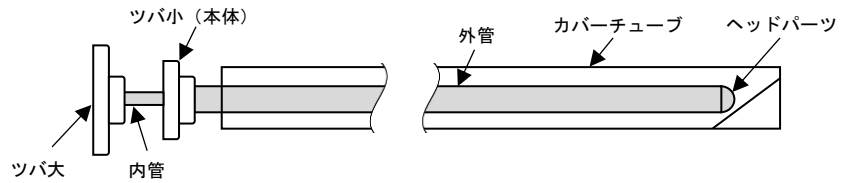


牛用受精卵移植器 モ1号

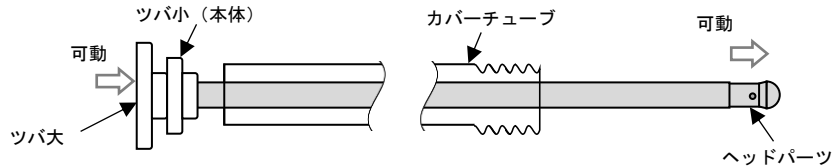
【禁忌・禁止】
 ・本体の再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

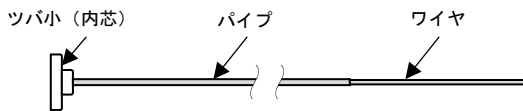
（本体およびカバーチューブ
 ヘッド部分が収納された状態）



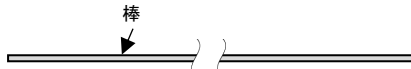
（本体およびカバーチューブ
 ヘッド部分が開いた状態）



【内芯：付属品】



【押し棒：付属品】



【原料及び材料】

部位	名称	原材料
本体	ヘッドパーツ	ステンレス鋼
	外管	ステンレス鋼
	内管	ステンレス鋼
	ツバ小（本体）	ABS樹脂
	ツバ大	ABS樹脂
カバーチューブ	カバーチューブ	ポリエチレン
内芯	パイプ	ステンレス鋼
	ワイヤ	ステンレス鋼
	ツバ小（内芯）	ABS樹脂
押し棒	棒	ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

動物（主に牛）に使用されることを目的とした、受精卵を子宮内に注入するための器具である。

(5) 子宮に到達したら、ツバ大を押し込んでヘッドパーツを開く。内芯をゆっくり押し込み、子宮内にストロー管内の受精卵を放出する。

【使用方法等】

- 受精卵が入っているストロー管（0.25mL）を用意する。本体の包装をツバ側から開ける。
 （※包装は移植作業直前まで外さない）
 カバーチューブを被せたまま、ツバ大の穴からストロー管を挿入する。
- そのままツバ大の穴に押し棒を挿入し、ヘッド部分内にストロー管が嵌り込むまで押し込む。
- 本体から押し棒を抜き、内芯を挿入する。
- カバーチューブを被せたまま、本体を包装から取り出し、牛の膣に挿入する。子宮頸管を通る時にカバーチューブをツバ側に引っ張り、ヘッド部分を突き破らせる。

【使用上の注意】

- 包装および製品について、破損・汚損等の異常がある場合は、使用しないこと。
- 本体の再使用禁止。
- 付属品（内芯、押し棒）の再使用時は、衛生状態に十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

水ぬれに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

【製造販売業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 住所：茨城県笠間市長兎路 1320 番地 5
 TEL/FAX：0296-77-8649 / 0296-77-8849

【製品に関するお問い合わせ先】

エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 電話：0120-305-765
 〈受付時間〉：9:00～17:00